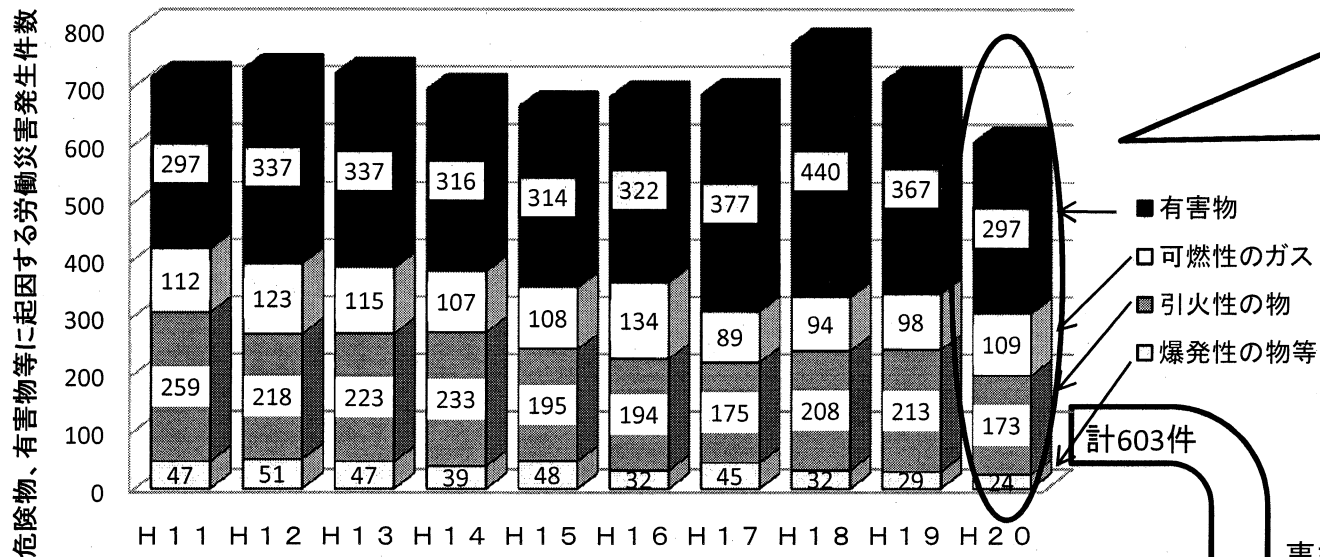


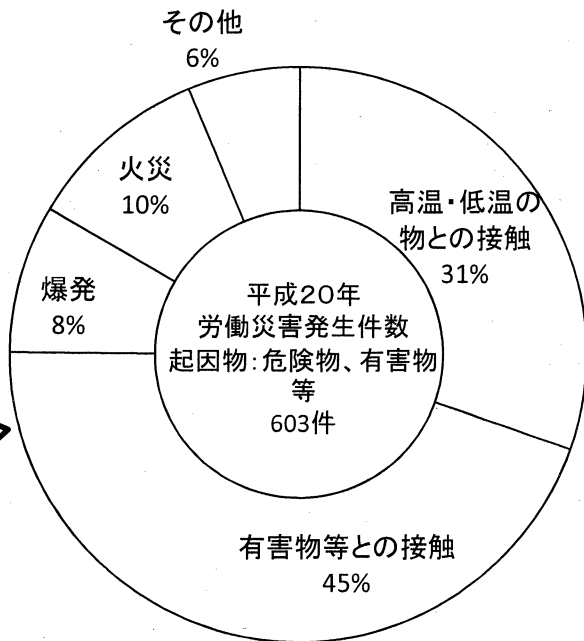
化学物質(危険物、有害物等)に起因する
労働災害(休業4日以上)の推移【図-1】



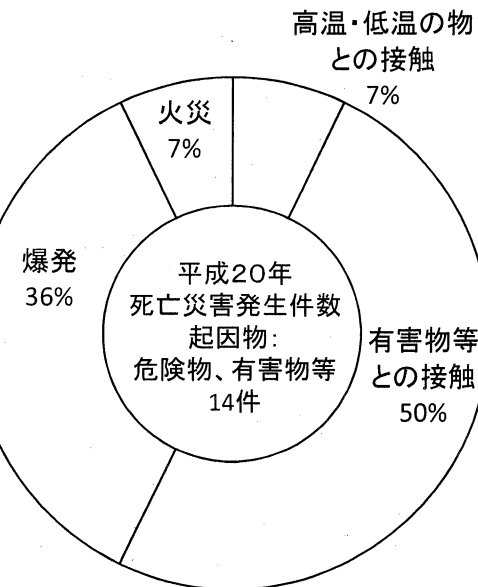
化学物質(危険物、有害物)に起因する労働災害が、年間600~700件程度発生している。

事故型別に分類

事故型別 発生状況(休業4日以上)【図-2-1】



うち死亡数【図-2-2】

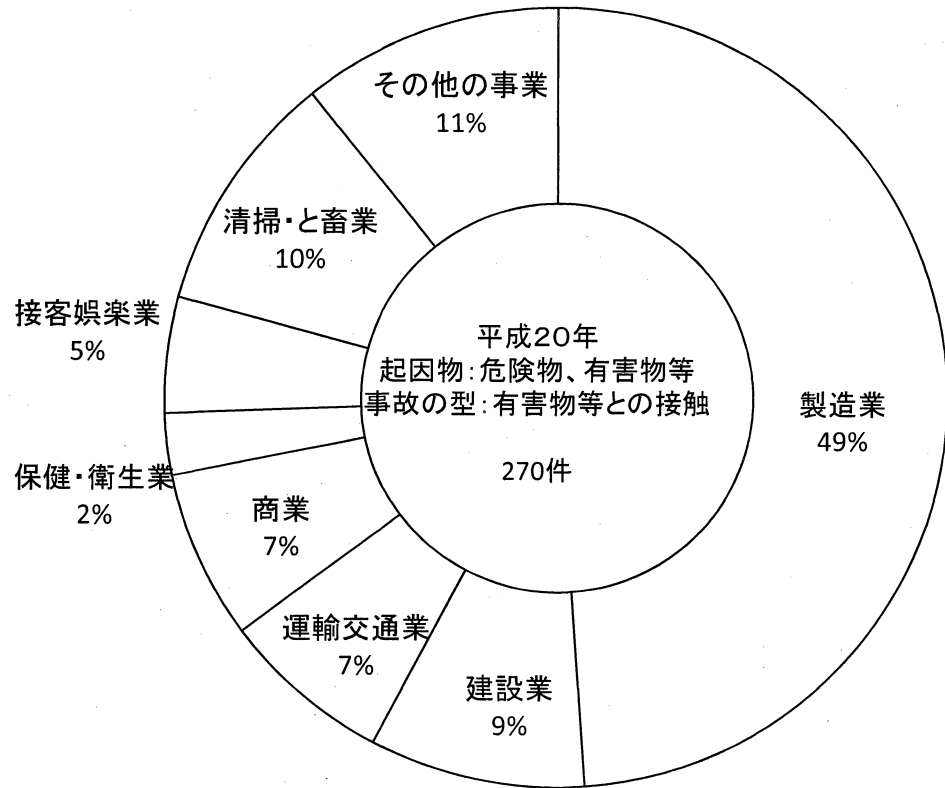


有害物等、高温・低温の物との接触による災害が多い。このうち、死亡災害は、有害物との接触、爆発によるものが大半を占める。

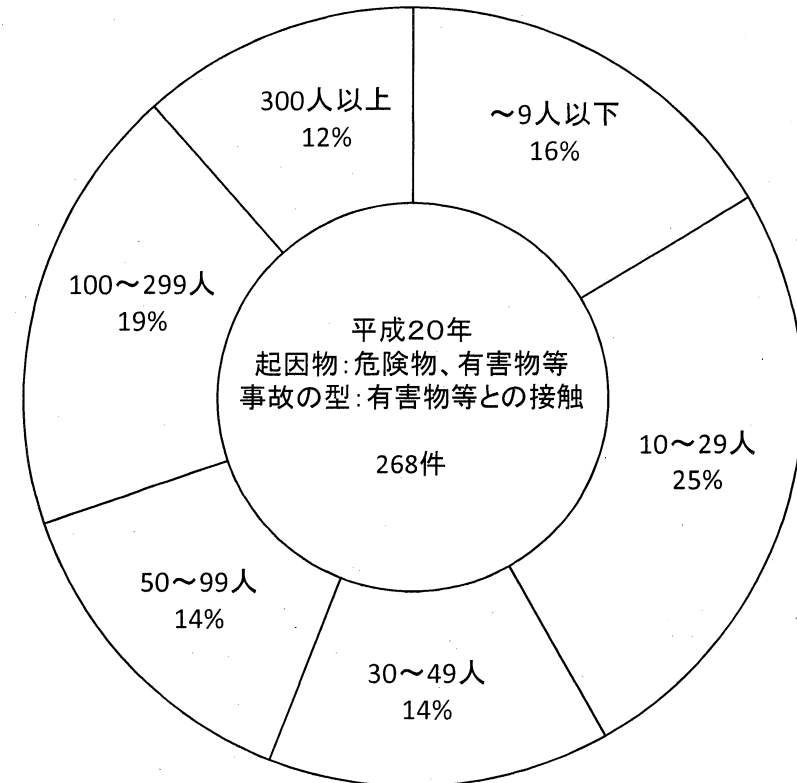
資料出所: 労働者死傷病報告

平成20年 有害物等との接触災害(休業4日以上)の発生状況【図-3、図-4】

【図-3 業種別】



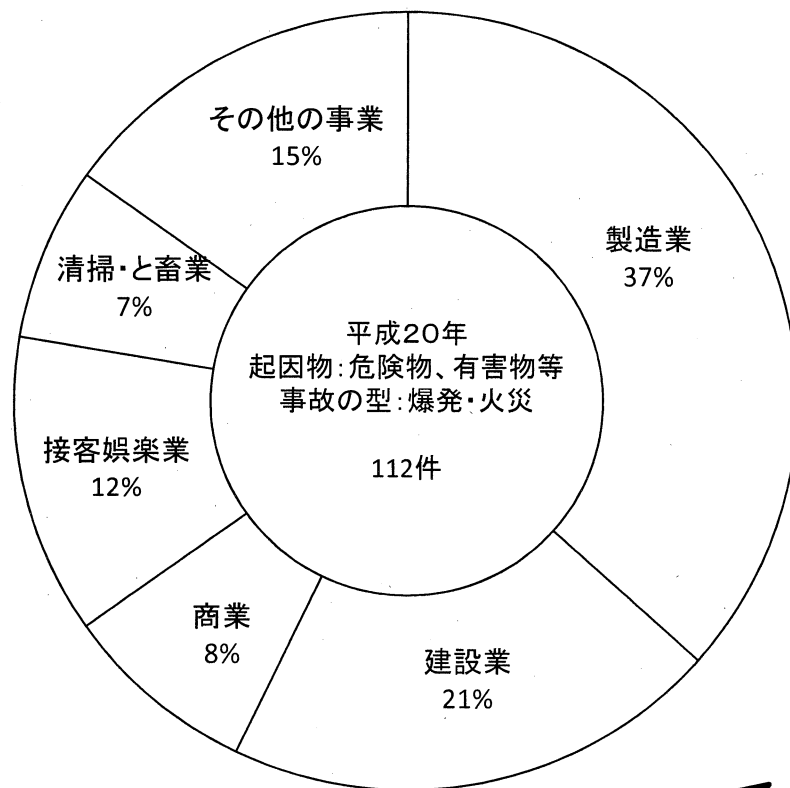
【図-4 事業場規模別】



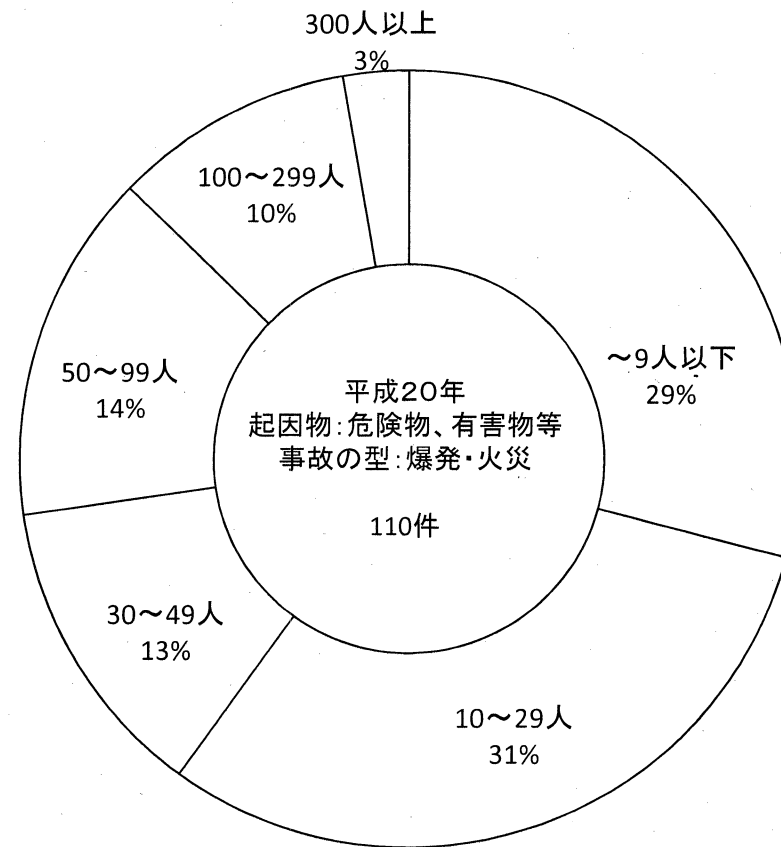
化学物質による中毒等の労働災害は、業種別には製造業をはじめ多様な業種で発生している。また、事業場の規模別では、中小規模事業場で多く発生している。

平成20年 危険物、有害物等による爆発・火災災害の発生状況【図-5, 図-6】

【図-5 業種別】

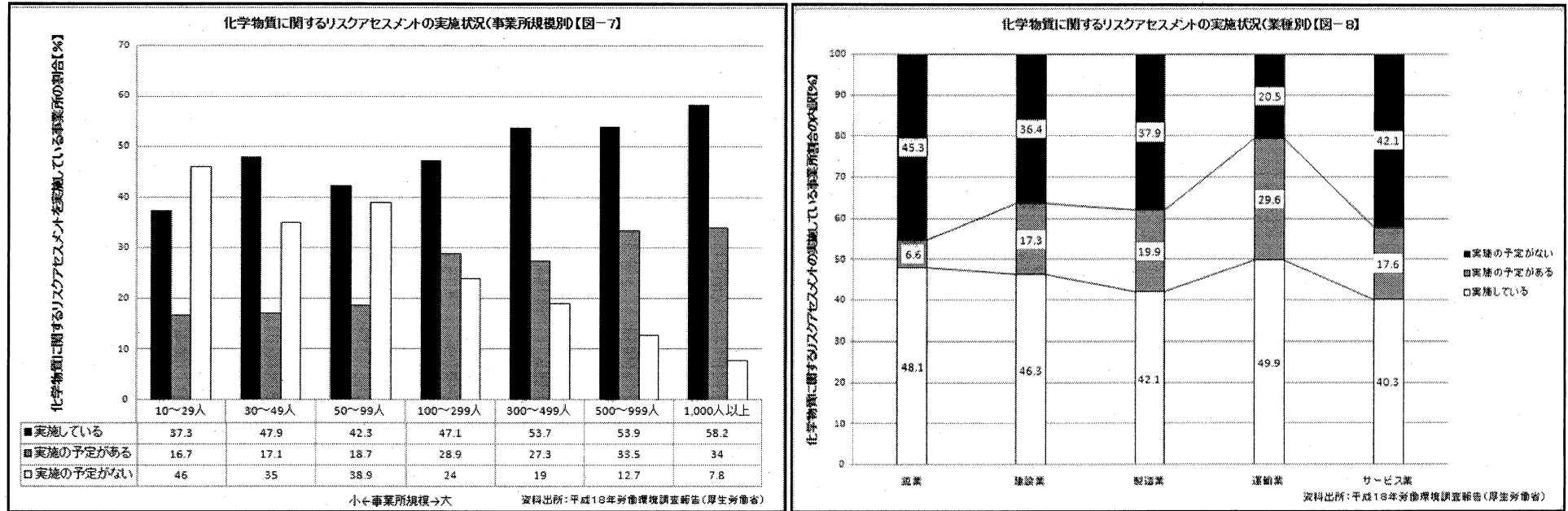


【図-6 事業場規模別】



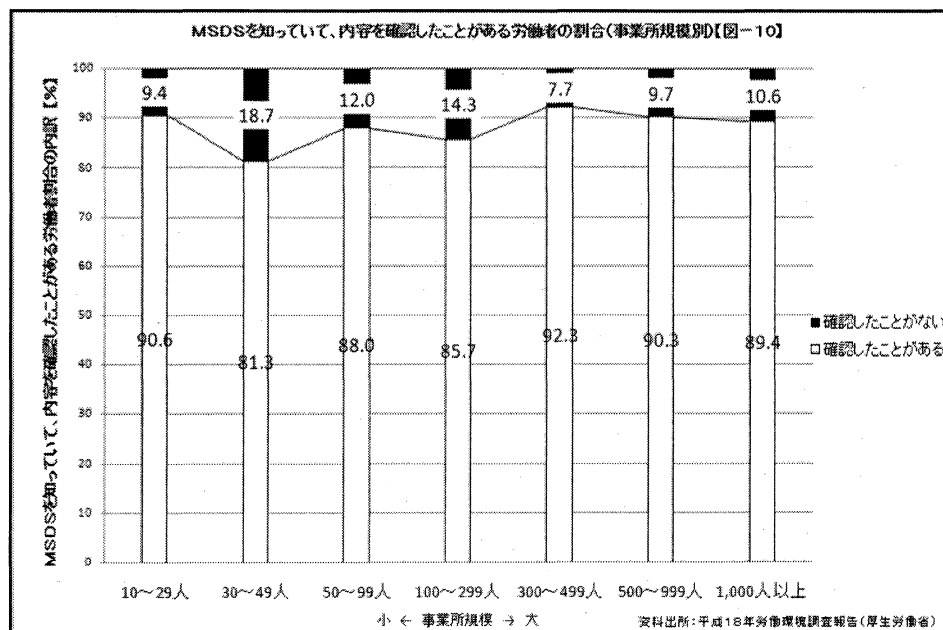
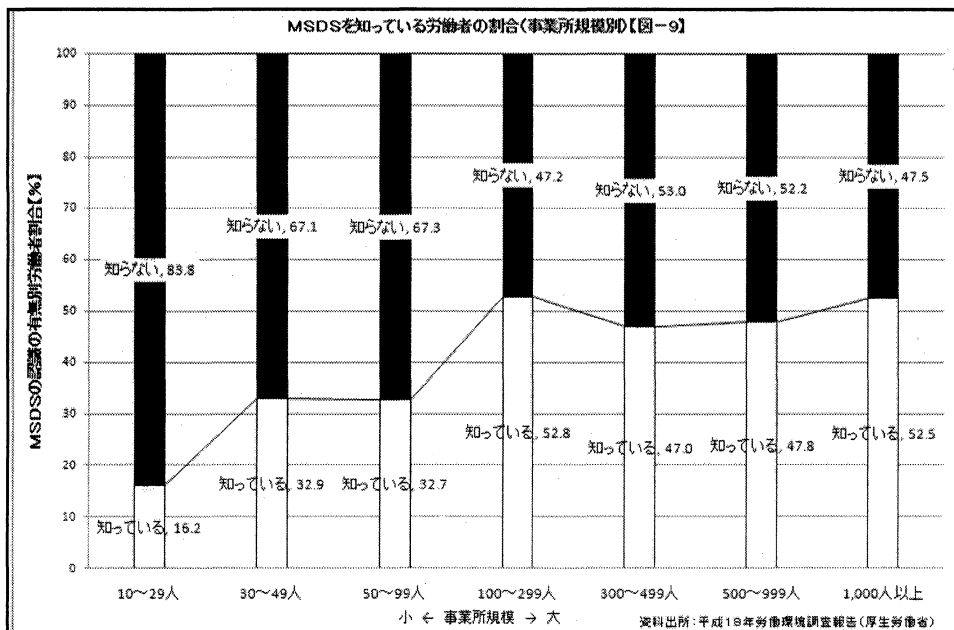
化学物質による爆発・火災等の労働災害は、製造業及び建設業で多く発生している。
また、事業場の規模別では、中小規模事業場で多く発生している。

化学物質を取り扱っている事業所のうち、化学物質に関するリスクアセスメントを実施している事業所の内訳【図-7、図-8】



化学物質に関するリスクアセスメントは、事業所規模が大きくなるほど実施率が高い。また、業種にかかわらず、約半数の事業所でリスクアセスメントが実施されている。

化学物質を取り扱っている事業所のうち、MSDSを活用している事業所の内訳【図-9、図-10】



MSDSについては、事業所規模が小さくなるほど、MSDSを知っている労働者の割合は、低くなる。また、業種別にみると、MSDSを知っている労働者は、事業所規模を問わず、内容を確認している状況にある。

※ MSDS (Material Safety Data Sheet: 化学物質等安全データシート)とは
 危険有害な化学物質を販売する際に、当該化学物質に関する情報を通知するために販売業者等から交付される文書。化学物質の名称、成分及び含有量、人体に及ぼす作用、取扱い上の注意、事故が発生した場合において講ずべき応急の措置、適用される法令等が記載されている。